

令和2年度 日本平夢テラスの指定管理に係る外部評価委員会の評価結果について

令和3年1月29日
静岡県スポーツ・文化観光部
観光交流局観光政策課

1 評価の趣旨

日本平山頂シンボル施設（愛称：日本平夢テラス）における指定管理者の令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の管理運営実績を外部有識者により評価し、より適正な管理運営や提供するサービスの向上に繋げていくため、外部評価委員会を実施した。その評価結果は90点（100点満点）であった。詳細は以下のとおりであり、今後の指定管理業務の改善に活用していく。

2 指定管理の概要

(1) 指定管理者

A S C 日本平グループ

代表企業 アクティオ株式会社

構成団体 静岡ビル保善株式会社

特定非営利活動法人コンベンション静岡

(2) 指定管理期間

平成30年10月1日から令和5年3月31日まで

3 評価項目と配点

評価項目	1人当たりの 持ち点	計 (5点×5人)
管理運営の基本方針	5点	25点
施設への来訪促進	5点	25点
適正な施設管理 (満足度向上、誘客活動、ラウンジ運営、自主事業、地域連携)	5点	25点
安定的な経営管理	5点	25点
昨年度の指摘事項の改善状況	5点	25点
計	25点	125点 ※発表時は 100点満点に換算

5点「非常に優れている」

4点「やや優れている」

3点「標準」

2点「取組の見直しが必要」

1点「根本的な改善が必要」

4 委員

氏名	職名
奥村 昭博（委員長）	静岡県公立大学法人 静岡県立大学 副学長
久保田 隆	静岡市ホテル旅館協同組合 理事長
白鳥 三和子	税理士法人 静岡みらい 代表社員
池田 文信	公益財団法人 するが企画観光局 専務理事
中村 泰昌	一般社団法人 静岡県商工会議所連合会 専務理事

5 評価結果

評価項目		評価点	前年度
管理運営の基本方針		25点 / 25点	23点 / 25点
施設の来訪促進	満足度向上、誘客活動、 ラウンジ運営、自主事業、地域連携	22点 / 25点	20点 / 25点
適正な施設管理		21点 / 25点	19点 / 25点
安定的な経営管理		22点 / 25点	22点 / 25点
昨年度の指摘事項の改善状況		23点 / 25点	—
合 計		113点 / 125点	84点 / 100点
100点満点換算		90点 / 100点	84点 / 100点

6 委員の主な意見

(1) 管理運営の基本方針について

- ・ 全般を通じて管理運営状況は良好であり、特に来館者数が目標を上回っている点は評価できる。
- ・ 来館者数の実績が目標の3倍弱であり、精査して目標値を再設定した方が良い。
- ・ アンケート等に基づいて、自己評価の客観性を高めていくことが望ましい。
- ・ 資料上、予算と決算とで括りの区分が異なる部分があり、比較が出来るよう統一すること。
- ・ 休館日の取違えについては再発防止に努めること。
- ・ 環境問題、SDGs等、ウィズコロナ、アフターコロナ時代に的確に対応すること。

(2) 満足度向上について

- ・ ラウンジや自主事業については「静岡ならではの工夫した運営がされており、特にラウンジの売上げは目標を大幅に上回っており、素晴らしい。
- ・ 食材等、日本平夢テラスにしかない魅力のある「目玉」を作れると良い。
- ・ これからの観光においてDX（デジタルトランスフォーメーション）は非常に重要なので、対応していくこと。
- ・ 静岡市のお茶の日（11月1日）にちなんだイベントを検討してはどうか。

(3) 広報、営業活動について

- ・ SNSは有効な手段であるが、継続的に対応しないと逆効果であるので続けられたい。

(4) 地域連携について

- ・ するが企画観光局は所在地をマネジメントエリアにしているので、連携により良い効果が生まれる。

(5) 適正な施設管理について

- ・ 研修等をやりつつ、フォローアップもしっかりやっており効果的である。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に留意すること。
- ・ ラウンジのメニューをテイクアウトしてオープンスペースで食べるような方策も考えても良い。

(6) 前回の指摘事項への対応について

- ・ ほぼ対応されている。

(7) 指定管理業務外の意見

- ・ トイレや駐車場に関して、混雑時の対策を取ること。
- ・ 駐車場からの急坂への対策について、スピード感をもって検討していく必要がある。